

学位論文審査申請の手引

乙（論文提出により学位を申請する場合）

信州大学大学院総合医理工学研究科

医学系専攻医学分野

生命医工学委員会4年制コース

《 目 次 》

1. 申請資格	2
2. 学位論文について	3
3. 申請手続き	4
4. 学位申請に要する費用	5
5. 学位論文の審査手順	6

(各様式)

学位申請書	別紙様式第2号	7
履歴書	別紙様式第3号	8
論文目録	別紙様式第4号	9
学位論文の要旨	別紙様式第5号	10
業績目録	別紙様式第6号	11
同意書	別紙様式第7号	12
証明書	別紙様式第8号	13
学位論文における共著者の役割	別紙様式第9号	14
学位論文審査申請票(乙)		15

1. 申請資格

下記の申請資格を有し、学位を申請しようとする者は、学位申請書に別に定める書類を添え、研究科長を経て学長に提出するものとする。

〔1〕総合医理工学研究科又は医学系研究科が行う統一外国語試験に合格していること。
なお、過去に信州大学大学院博士課程医学研究科又は総合医理工学研究科医学系専攻医学分野・生命医工学専攻4年制コースの入学試験に合格した者は、統一外国語試験に合格している者とみなす。

〔2〕研究歴（申請に必要な年数）

I 修業年限が6年の課程を修了した者

基礎医学 5年以上

臨床医学 6年以上

基礎医学・臨床医学 5年以上（臨床医学の期間は5/6を乗じる。）

*** 本学医学部（附属病院含む。）、総合健康安全センター、医学系研究科又は総合医理工学研究科医学系専攻医学分野若しくは生命医工学専攻4年制コースにおける2年間のフルタイムの研究期間（研究生の期間を含む。）を義務付ける。**

II 修業年限が4年の課程を修了した者

その研究業績が医学に関連深いもので、委員会において、特にその理由を認められた者に限り、申請を受理することができる。

基礎医学 5年+2年=7年以上

臨床医学 6年+2年=8年以上

基礎医学・臨床医学 7年以上（臨床医学の期間は7/8を乗じる。）

*** 本学医学部（附属病院含む。）、総合健康安全センター、医学系研究科又は総合医理工学研究科医学系専攻医学分野若しくは生命医工学専攻4年制コースにおける3年間のフルタイムの研究期間（研究生の期間を含む。）を義務付ける。**

* フルタイムの期間は、医学部等に在籍、在職、在学していることを意味する。

* 規定の年限は、フルタイム研究者（パートタイム期間には、8/10を乗じる。）

* 研究歴とは、次に該当するものとする。

1) 大学（他大学含む。）の専任職員として研究に従事した期間

ただし、平成11年以前より研究を継続している技術系職員については研究歴をパートタイム換算し、平成11年4月1日以降については、統一外国語試験実施細則の2号のただし書きを適用する。

卒後〔医師免許取得後〕2年間の研修期間及び医療技術短期大学部は該当しない。

2) 大学院（他大学含む。）に在学した期間

3) 大学（他大学含む。）に研究生（専攻生等を含む）として在学した期間

4) 大学（他大学含む。）に副手として研究に従事した期間

5) 権威ある研究施設において、専任職員として研究に従事した期間

6) 委員会が前各号と同等以上と認めた期間

2. 学位論文について

《内規》

・学位論文は原則として、学位論文申請者の英文原著論文であり、印刷公表されたものであること。

(ただし、印刷公表前のものであっても、公表機関の掲載証明書等がある場合は可)

・学位論文申請者が、筆頭著者あるいは筆頭著者相当であること。

ただし、共著論文の場合は、研究および論文作成の中心的役割を果たしたことが主指導教授により証明され、共著者により同意されたものでなければならない。

・学位論文を掲載する雑誌としては、以下のものを認める。

(1) IF (Impact Factor) 0.3 以上の国際的雑誌

*IF については、原則としてアクセプト時の数値とする。

(2) 信州医学雑誌 (ただし英語論文に限る。)

(3) その他、研究科委員会が認めた雑誌

その他に参考論文 (印刷公表されたもの。) があるときは、これを提出する。

〈以下のものは論文としては認められないので注意すること〉

(イ) 新聞記事，教育に関する記事，人物紹介，書評，随筆等に所属するもの。

(ロ) 抄録 (邦文，欧文を問わない。論文形式をとっていても学会発表に関するものも抄録と見なす。)

(ハ) セミナー，シンポジウム，その他講演会のテキストないし記録等。

(ニ) 業務報告書 (大学，文部科学省，厚生労働省等への研究報告等)

(ホ) 座談会記事

(ヘ) 学会記

(ト) 質疑応答 (Q and A, 今日の治療指針，問題集の解説等)

(チ) 著者表示が団体名で個人の著作権が認められないもの。

(リ) 学術雑誌とは認められないもの (一般雑誌等の商業紙) に発表したもの。

3. 申請手続き

[学位申請に要する書類]

【一次審査時】

- ① 学位申請書 (別紙様式第2号)
- ② 履歴書 (別紙様式第3号)
- ③ 論文目録 (別紙様式第4号)
- ④ 学位論文の要旨 (別紙様式第5号)
- ⑤ 業績目録 (別紙様式第6号)
- ⑥ 学位論文
- ⑦ 参考論文 } 各4部
- ⑧ 同意書 (別紙様式第7号)
- ⑨ 証明書 (別紙様式第8号)
- ⑩ 学位論文における共著者の役割 (別紙様式第9号) 【共著者が1名以上の場合に提出】
- ⑪ 卒業証明書 (最終学歴)
- ⑫ 研究歴証明書
- ⑬ 大学院単位修得退学証明書
- ⑭ 本学教授の紹介状
- ⑮ 戸籍抄本
- ⑯ 申請者の所属した研究施設の長及び指導者の推薦書
- ⑰ 学位論文審査申請票 (乙) 【メール添付で提出】
- ⑱ 学位論文の掲載が国際的雑誌の場合、アクセプト時 (年) の IF が 0.3 以上であることがわかる書類 (JCR のサイトを印刷したもの)
- ⑲ 印刷公表前 (in press) の場合、公表機関の掲載証明書等
- ⑳ 統一外国語試験合格通知書 (写) 【該当者のみ提出】

上記のほかに

- ②, ③, ④, ⑤, ⑩の順番で、両面、左上ホチキス止めしたものを5部
- ②, ③, ④, ⑤, ⑩の PDF データ

《提出書類のうち省略できる書類》

- I. 本学出身者かつ本学で研究した者 …… ⑪, ⑫, ⑭, ⑮, ⑯
- II. 本学出身者かつ他の場所で研究した者 … ⑪, ⑮
- III. 本学出身者でなく本学で研究した者 ……⑭, ⑯
(ただし、医学・歯学・獣医学出身者については⑫も省略可)

【二次審査時】

- ① 論文の内容の要旨 2部
- ② 論文審査の結果の要旨 2部
- ③ 学力確認の結果の要旨 2部
- ④ 学位論文2部 (両面、左上ホチキス止め) 《参考論文は不要》

上記の他に

- ・①, ②, ③のデータ (Word ファイル)
- ・④のデータ (印刷物と同内容の PDF データ)
- ・論文の内容を1枚のスライドにまとめた Graphical Abstract (PDF データ)

★データの送付先：医学部大学院係 mdaigak@shinshu-u.ac.jp

[論文目録・学位論文の要旨での作成上の注意]

- 題目に日本語訳を括弧書で付すこと。
- 「学位論文の要旨」は2,000字程度とする。

[その他注意事項]

- IFは必ずJournal Citation Reports (JCR)で確認すること。非公式な数値の場合は、条件を満たさないため注意すること。
- 学位論文中の誤字等の訂正は、直接冊子上に行わず、正誤表を作成して添付すること。

4. 学位申請に要する費用

57,000円 (一次審査日の翌日(厳守)に、医学部会計係に納付すること。)

5. 学位論文の審査手順

学位論文審査申請に要する書類【一次審査用】の事前確認

提出先：医学部大学院係



学位論文審査申請に要する書類【一次審査用】の提出

提出先：医学部大学院係



大学院委員会審査



各教授が審査書類を事前に閲覧



大学院（医学）合同委員会【一次審査】

学位論文の受理・審査委員（主査1名，副査3名）の承認



学位申請に要する費用の支払い

大学院（医学）合同委員会【一次審査】の翌日（厳守）



学長あて上申，学長から論文審査の付託
審査委員へ学位論文等配付《大学院係》



「学位論文審査委員会開催届」を大学院係へ提出《主査》
審査委員会開催通知（1週間前にオールメール）《大学院係》



主査・副査による審査委員会開催



学位論文審査申請に要する書類【二次審査用】の提出

提出先：医学部大学院係



各教授が審査書類を事前に閲覧



大学院（医学）合同委員会【二次審査】

- * 主査が審査結果を報告
- * 申請者は医学部にて待機



生命医工学委員会 《生命医工学専攻所属者のみ》



学長あて審査の議決報告



学位授与

* 学位記授与式は，10月上旬および3月下旬に実施

学位申請書

令和 年 月 日

信州大学長 殿

本 籍 _____

現住所 _____

申請者 _____ 印

このたび信州大学学位規程第5条第2項の規定により、博士（医学）の学位を受けたいので学位論文・履歴書に関係書類ならびに審査手数料金57,000円を添え提出いたしますから、御審査くださるよう申請いたします。

記

履 歴 書	1 通
卒 業 証 明 書	1 通
大学院単位修得者はその証明書	1 通
研究歴証明書	1 通
論文目録	1 通
業績目録	1 通
学位論文	3 通
学位論文の要旨	1 通
参考論文	3 通
本学教授の紹介状	1 通
戸籍抄本	1 通
申請者の所属した研究施設の長並びに指導者の推薦書	1 通

該当しない書類、省略できる書類は、削除する。

なお、外国語については次の2カ国語（日本語については外国人に限る）を選択し、そのうち英語については、（平成または令和） 年度第 回信州大学大学院 （注） 研究科統一外国語試験に合格しています。

日本人の場合、
どちらかに○印

外国語	選択科目	備 考
英 語	○	選択科目に ○印をすること
独 語		
仏 語		
日本語		

（注） 合格通知書で確認してください。

平成30年度以前：医学系研究科
平成31年度以降：総合医理工学研究科

信州大学大学院入試合格者の場合

「平成○年度信州大学大学院○○研究科博士課程入学試験に合格」

*～H18年度：医学研究科

* H19年度～H29年度：医学系研究科

* H30年度～：総合医理工学研究科

履 歴 書

報 告 番 号	乙 第 号		
(ふりがな) 氏 名		性 別	
生 年 月 日			
本 籍			
現 住 所	〒		
	電話 () - -		
最 終 学 歴	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">平成 25 年度以前は, 「講座」と記入</div>		
平成 年 月 日	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学		
平成 年 月 日	同上卒業		
平成 年 月 日	信州大学大学院医学系研究科 (系 教室) (又は総合医理工学 研究科 (専攻 分野 教室)) に入学, 〇〇〇〇教授の指導 を受ける		
平成 年 月 日	同上単位修得満期退学		
研 究 歴			
平成 年 月 日	信州大学大学院医学系研究科 (系 教室) (又は総合医理工学 研究科 (専攻 分野 教室)) に入学 (又は「研究生として 入学」), 〇〇〇〇教授の指導を受ける		
平成 年 月 日	同上単位修得満期退学 (研究生の場合は「期間満了 (退学)」)		
職 歴			
平成 年 月 日	医員 (研修医) 信州大学医学部附属病院に採用 (科)		
平成 年 月 日	同上退職		
平成 年 月 日	〇〇病院に採用		
平成 年 月 日	同上退職		
平成 年 月 日	医員 (信州大学医学部附属病院) に採用 (科) 現在に至る		

論 文 目 録

信州大学

報 告 番 号	乙 第 号	氏 名	
学 位 論 文			
著 者 名 (共著者がいる場合は、明記すること。(日本人は和名で表記))			
題 目			
(和訳を括弧書きで併記すること。)			
令和 年 月 日発行(予定)			
〇〇誌 第 卷 第 号 第 頁～第 頁			
〇〇誌 (in press) ←印刷公表前の場合、公表機関の掲載証明書等を添付すること。			
参 考 論 文			
著 者 名 (共著者がいる場合は、明記すること。(日本人は和名で表記))			
題 目			
(題目が外国語の場合は、和訳を括弧書きで併記すること。)			
令和 年 月 日発行(予定)			
〇〇誌 第 卷 第 号 第 頁～第 頁			
<ul style="list-style-type: none"> ・印刷公表されたもの。(英文か邦文は不問) ・学位論文の内容と関連があるもの。 ・論文申請者が共著者であること。(筆頭者である必要はない。) ・参考論文が無い場合は“無し”と記入 			

学位論文の要旨

専攻 分野 学	氏 名	
<p>題 目</p> <p>(和訳を括弧書きで併記すること。)</p>		
<p>要 旨</p> <p>* 文字数は、2,000 字程度とする。</p> <p>* 外国人留学生に限り英文での作成を可とする。</p> <p>研究指導者 信州大学医学部教授 研究場所 信州大学医学部 教室</p>		

業 績 目 録

氏 名

原著及び著書	発表年月日	発表機関	備 考
論文目録に記載した学位論文, 参考論文以外を記載する。	発表年月日の古いものから記載	雑誌名 第 卷 第 号 第 頁～第 頁	著者名記入 ①申請者が筆頭者の場合 信大太郎・他〇名 ②申請者が筆頭者の次に位置する場合 筆頭者・信大太郎・他〇名 ③その他の場合 筆頭者・他〇名 (他〇名の中には申請者本人も含む)

*複数にわたる場合は, ページを付ける。

同 意 書

令和 年 月 日

大学院総合医理工学研究科長 殿

論文提出者氏名 _____ 印
共 著 者 氏 名 _____ 印

論文題目

上記の論文を _____ 氏が信州大学博士（医学）の学位申請の
主論文として提出することに異議ありません。

（論文は、1回限り学位請求論文とし、共著者が再度使用することはできない。）

別紙様式 8 号

証 明 書

令和 年 月 日

大学院総合医理工学研究科長 殿

指導教員 _____ 印

論文題目

上記の論文を _____ 氏が信州大学博士（医学）の学位申請の
主論文として提出することに異議ありません。

共著者が11名以上の
場合に提出すること。

学位論文における共著者の役割

共著者の人数を記載する。
(筆頭著者を除く。)

申請者自身の氏名を記載する。

この度、信州大学大学院総合医理工学研究科〇〇 〇〇氏の学位の申請にあたり、共著者が12名(筆頭著者を除く)に及ぶ理由を以下に述べます。

本研究の遂行に当たっては、複数の研究者がそれぞれの立場から研究に参画する必要があり、これらの研究者が発表論文の共著者となりました。

各研究者の役割は以下の通りです。

共著者の氏名を記載すること。

以下共著者全員について記載のこと。

〇〇 〇〇助教(信州大学医学部〇〇教室)には、実験計画の立案、実験の遂行、結果の解析から論文作成にわたる全過程において指導を依頼しました。

直線部分：
共著者の現在の身分
(助教や大学院生や医師や講師等)を記載すること。
()内は所属機関又は研究科名等を記載すること。

〇〇大学院学生(信州大学医学系研究科)は、動物モデル作成についての全
導を行いました。

〇〇 〇〇研究生(信州大学総合医理工学研究科)は、動物モデル作成についての
的指導を行いました。

〇〇 〇〇医師(日本赤十字病院)は、アポトーシスの解析についての指導を行
いた。

〇〇 〇〇(信州大学医学部〇〇教室)は、研究指導から討論に至る全般にわたり
指導統括を行いました。

二重線部分：共著者の論文作成時の
役割を記載すること。

なお、共著者が多いですが、そのことが本論文の学位論文としての価値を損なうもの
ではありません。

提出版は下線不要

令和 年 月 日

信州大学医学部

教室

指導教員 氏名

印

学位論文審査申請票（乙）

申請番号	(係記入欄)			
ふりがな 申請者氏名				
学籍番号 <small>(本研究科博士課程の 在学歴がある場合)</small>	所属教室	学		
1次審査予定日	令和 年 月 日			
研究歴 (年数)	(係記入欄)			
最終学歴	令和 年 月	大学	学部	学科 卒業
統一外国語 試験合格年度	(令和または平成)		年度第	回
学位論文題目 及び (日本語訳)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; width: 150px;">論文目録及び学位論文の要旨と統一すること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; width: 200px; margin-left: 20px;">大学院博士課程入試合格者の場合、【平成(令和)〇年度博士課程入学】と記入すること。</div>			
共著者名 (1コマに1名 ずつ記入)				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; width: 150px;">論文目録と同内容を記入すること。</div>			
学位論文 掲載雑誌	発行年月日	令和 年 月 日 (予定)		
	巻・掲載頁	第 巻 第 号 頁～ 頁	インパクト ファクター 【アクセプト年】	
	審査委員	主 査	〇〇 〇〇 教授	
《主指導教員 が決定》 <small>(論文の共著者は審査委員になることができない。 ただし副査は1名以下であれば共著者を認める。)</small>	副 査 1	〇〇 〇〇 教授		
	副 査 2	〇〇 〇〇 教授 (原則として指導教員)		
	副 査 3	所属先 氏名, 職名		【外部審査委員】

* 提出書類の事前確認時に医学部大学院係あてメール添付で提出してください。
 [送信先 : mdaigak@shinshu-u. ac. jp]